

# 地域の歴史を我が手中に！

## 1. はじめに

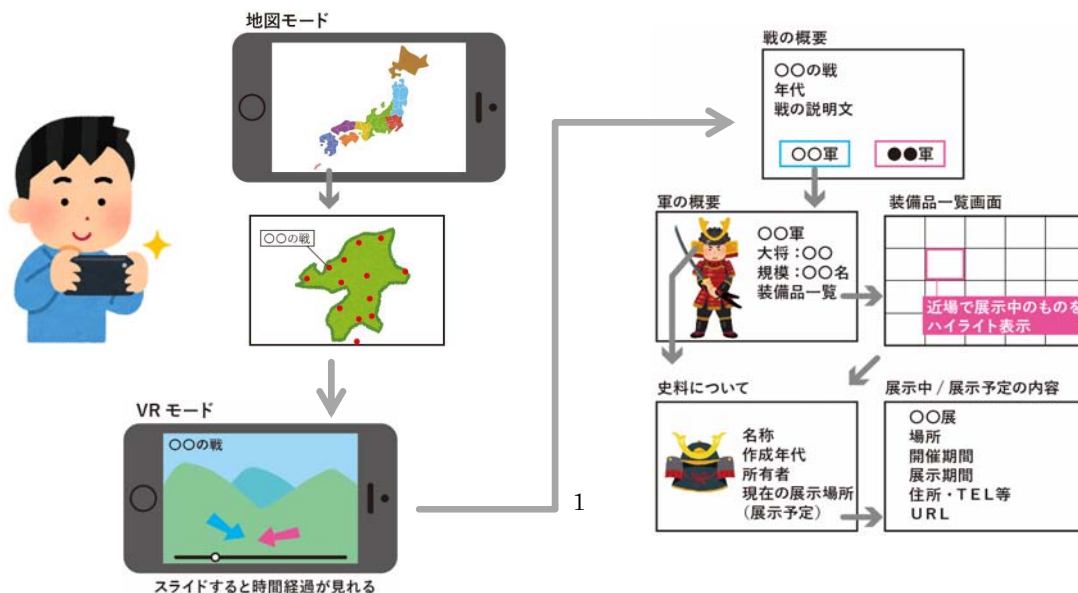
人類の歴史は、戦いの歴史であります。少し言い過ぎました。それでもあちらこちらに史跡として伝承されておりますし、博物館にも多数の史料が保管・展示されております。しかしながら、あまり地域の人に親しまれているわけではないというのも現状ではないでしょうか。

そこで、楽しみながら地域の歴史を知ることのできるスマートフォンを活用したアプリケーションを提案いたします。

## 2. アプリケーションの概要

このアプリケーションは、史跡もしくは家などから、スマートフォンを活用し、視覚的に分かりやすく、そこで行われた戦の詳細と、その時に使用された武器などの装備品と一緒に知ることができるものです。アプリケーションのおおまかな流れは以下のとおりです。

- ・ 現在地の史跡に反映される「VRモード」と、地図から見たい地域を選択できる「地図モード」の2種類からどちらかを選択（人名等での検索機能もここに）
- ・ 「VRモード」では写っている景色に、「地図モード」ではあらかじめ設定した写真や地図に情報を表示
- ・ 各軍の進行が矢印等で表示され、下のスライダーの操作で時間経過を見ることも可能
- ・ 戦の名称をタップ→戦の名称、年代、説明文、参戦した軍の名称等を表示
- ・ 軍の名称をタップ→その軍の概要として大将名や規模、装備品一覧等を表示
- ・ 軍の概要ページに表示されている大将の絵の甲冑等をタップ→史料についての詳細ページを表示
- ・ 大将名をタップ→生い立ちや家系図、装備品一覧を表示
- ・ 装備品一覧をタップ→その戦でその軍が使用した装備品が一覧で表示され、近くで展示中のものはハイライト表示される
- ・ 装備品一覧の詳細は史料についての詳細ページと同じ
- ・ 史料についての詳細ページのは、名称、作成年代、所有者/所有機関、現在の展示場所/展示予定場所等を表示
- ・ 展示中/展示予定場所をタップ→展覧会の名称や場所、開催期間、展示期間、連絡先等が表示され、そこから直接電話等で連絡を取ることが可能（割引券を表示するならここに）



### 3. さいごに

このアプリケーションは、地域の歴史を知ることだけでなく、周遊観光や博物館振興も目的としております。

自分の地域を知るとは、自分の地域への誇りを育てます。自分の地域に誇りを持てば、他の地域も尊重できるようになります。今後、国内の観光客や、東京・大阪に飽きた外国人も、地方にお越しになるはずですから。その際に堂々と自分の地域の歴史を紹介でき、また同時に相手の地域の歴史も尊重できるようになれば、観光都市としての「おもてなし」にもなり得るのではないのでしょうか。

例えば、福岡城址に観光に来られた方が、実際に黒田家が所持していた甲冑などに興味を持ったとして、福岡城址だけで展示するのではなく、百道にある博物館までお越しただけのような仕組みがあると、ついでにその博物館周辺も観光していただけるのではないのでしょうか。そうして少し遠くにも足を運んでももらえるようになれば、地域全体の活性化にもつながるでしょう。

これから先、人工知能が発達し、最終的には旧来の学校の勉強が必要でなくなります。おそらく、人工知能をどれだけ自らの道具として活用できるか、といったものが能力とされてくるでしょう。そうして省力化してできた時間やお金を、楽しいことや興味のあることに積極的に使っていくようになるのではないのでしょうか。言い換えるならば、興味関心がないことには使われなくなります。能動的な行動は楽しい上に記憶に残りやすいものです。史跡等にある現在の案内板の表示だけでは、その場で何が起きたか想像できる人は少ないと感じます。それが楽しいものになるためには、能動的に行動できるような仕組みづくりが必要です。

また、博物館の所蔵品は先人が後世にも受け継いでいきたいと願ったものの集まりでもあります。国の、地域の宝物です。これらを次の世代にも引き継ぐには、子供たちに興味関心を持ってもらわなくてはなりません。それも堅苦しいお勉強ではなく、楽しいものとして。そういったことへの足掛かりに、このようなアプリケーションが役に立つのではないのでしょうか。

以上